

# I. 調査結果概要

調査・各項目のデータは、加盟組合が記載したものを掲載しています。回収数、組織・地域のアンバランスなどがありますが、比較データとしてご活用頂き、賃金・労働条件改善の一助になればと思います。(数値の単位は「円」です。)

## 1. 平均賃金

全体の平均賃金（基本給、所定内賃金）は、下記（１）のとおりです。平均勤続年数は、「正職員」10.4年、「医師除く」11.6年です。また、平均年齢は「正職員」が40.3歳、「医師除く」が38.8歳です。同一組合の平均賃金の比較（２）（３）では、春闘確定後はすべてのデータが上がっています。同一組合の対象数にばらつきがあるため、参考数字としての扱いとなります。

### （１）全体平均

	<正職員>		<医師除く正職員>	
	15春闘確定前	15春闘確定後	15春闘確定前	15春闘確定後
基本給	286,404	286,154	265,510	265,136
所定内	328,211	329,363	288,866	294,416

### （２）同一組合平均の比較（正職員）

	基本給（51組合）	所定内（38組合）
15春闘確定後	282,569	326,248
15春闘確定前	285,333	328,285
差	2,764	2,037

### （３）同一組合平均の比較（医師除く正職員）

	基本給（65組合）	所定内（35組合）
15春闘確定後	265,418	294,683
15春闘確定前	266,868	294,713
差	1,450	30

## 2. モデル・ポイント賃金

モデル・ポイント賃金の平均は、下記の一覧表（1）です。全体的にはほぼ前年並みで、国家資格の専門職が殆どにも拘わらず「低い初任給」と「ねたきり賃金」になっています。

### （1）モデル・ポイント賃金の平均

	初任給	35歳	50歳
医師	315,874	534,218	732,465
薬剤師（6卒）	217,504	292,304	377,836
薬剤師（4卒）	205,307	291,036	377,293
看護師	200,246	283,050	363,110
准看護師	173,541	261,534	333,479
看護補助者・助手	151,896	238,660	300,352
放射線技師	190,514	279,556	364,016
臨床検査技師	187,045	274,716	355,428
理学療法士	190,860	278,598	359,055
作業療法士	190,961	278,256	357,480
臨床工学技士	187,619	279,429	362,181
言語聴覚士	190,254	279,551	360,575
臨床心理士	197,118	275,991	356,812
歯科衛生士	177,784	267,433	341,553
歯科技工士	176,446	272,457	349,831
管理栄養士	185,404	270,293	346,448
栄養士	173,355	264,408	344,537
調理師	160,014	245,397	312,501
保育士	168,489	253,834	322,254
介護福祉士	166,292	246,311	309,145
ヘルパー	156,265	236,032	296,247
大卒事務	180,563	262,051	343,569
高卒事務	155,609	252,278	328,238
労務	152,178	240,018	303,672

## (2) 同一組合による看護師・介護福祉士の前年度平均との比較

介護福祉士・看護師・高卒事務で比較を行っています。介護福祉士については、「初任給」で前年比+50円、「35歳」で+355円、「50歳」で+108円となり、小幅ながらも全年齢層で改善が見られています。

一方で、看護師については「50歳給」で▲470円と、年齢階層が上がるにつれて賃金改善が鈍化します。

高卒事務についても、「初任給」は371円上がったものの、「35歳」▲175円、「50歳」23円となっています。

介護福祉士		初任給	35歳	50歳
2014年度	全体平均	166,653	243,574	307,373
2015年度	全体平均	166,703	243,929	307,481
前年差		50	355	108

看護師		初任給	35歳	50歳
2014年度	全体平均	200,332	284,271	366,136
2015年度	全体平均	201,063	284,352	365,666
前年差		731	81	▲470

高卒事務		初任給	35歳	50歳
2014年度	全体平均	155,093	253,179	330,393
2015年度	全体平均	155,465	253,004	330,417
前年差		371	▲175	23

### 3. 最賃協定額

最賃協定額の平均は、下記(1)のとおりです。月額を見ると昨年調査より全体的に上がっていますが、「誰でも」だけは若干下がりました。「看護師」については、月額、日額、時間額のすべてで昨年よりも上がりました。

最賃協定額の「最高」と「最小」の差は引き続き大きく、看護師月額の格差はさらに広がり8万円を超え、時給額でも800円もの格差になっています。

### (1) 最賃協定額の平均

	月額	日額	時間額
看護師	198,186	9,020	1,228
准看護師	171,920	7,856	1,066
ヘルパー	153,948	6,885	905
誰でも	151,011	6,561	872

### (2) 最賃協定額の最高と最低の差（看護師・誰でもの場合）

看護師	月額	日額	時間額
最高	234,920	10,992	1,650
最小	150,300	7,336	850
差	84,620	3,656	800

誰でも	月額	日額	時間額
最高	187,760	8,407	1,121
最小	125,300	5,400	689
差	62,460	3,007	432

## 4. パートの賃金

パートの時間額平均は、以下の通りです。地域や病院性格別の差が大きく、「最高」と「最小」では2倍近い格差となっている職種が多くみられます。一時金の支給基準については、「経験で支給」「正職員と別基準」が圧倒的になっています。

	看護師	准看護師	事務部門	給食部門	介護福祉士	ヘルパー
平均	1,261	1,118	897	920	940	899
最高	2,400	2,000	1,428	1,619	1,280	1,200
中位	1,203	1,074	870	868	920	876
最小	850	800	715	689	715	715

## 5. 退職金

(1) 算定基礎 「集計表」を参照下さい。

(2) 退職金支給開始時期と支給月数

支給開始時期は平均で就職後 2.8 年、支給月数は 1.7 か月でした。

(3) 退職金支給月数

定年年齢に一番近い「40 年」で見ると、「希望（自己）退職」で平均 46.4 ヶ月、「定年退職」で平均 48.2 ヶ月です。全体の最高 65.0 ヶ月、中位でも 49.6 ヶ月と差があり、組合間格差がかなりあります。

(4) モデル退職金

看護師のモデル退職金は下記のとおりです。支給額の最高と最小では大きな格差があり、病院性格別では、公的地場や自治体が高く、民医連生協や福祉が低い実態です。

	月数	支給額
平均	49.4	17,489,625
最高	120.0	27,615,475
中位	49.5	17,655,670
最小	28.0	2,430,000

(5) パート・非常勤職員の退職金制度

制度が「ある」と答えたのは 22 組合であり、昨年から増えています。

以下については、集計表をご覧ください。

2013 年度から、各種手当（待機手当、手術室手当、透析手当、専門・認定看護手当、医師手当）の有無、年間一時金の項目を設けました。

6. 中途採用者の前歴加算

7. 早出手当

8. 遅出手当

9. 夜勤手当

10. 家族手当・住宅手当

11. 各種手当、年間一時金

## 12. 年間総労働時間

1日の労働時間では拘束8時間29分、実働7時間30分、休息59分となりました。また1週間の労働時間は拘束43時間24分、実労働38時間21分です。年間総労働時間の平均は1853時間31分で、昨年よりも約13時間増えています。最も長い年間総労働時間は2232時間（昨年2065時間45分）で、やはり昨年までの最高時間よりも大幅に増えています。性格別では軒並み1800時間を超えており、福祉では1973時間18分と最も長くなっています。

以下についても、集計表をご覧ください。

## 13. 36協定、夜勤協定

## 14. 年間休日

## 15. リフレッシュ休暇

## 16. 週休の形態

「完全週休2日制」28.1%、「4週8休制」28.1%を合わせると56.2%と前年より1.7ポイント減少しました。

## 17. 賃金・労働条件の改悪の動きについて

### （1）職能給・成果主義賃金について（カッコ内は前年値）

回答のあった113組合中、「導入の動きはない」が77組合68.1%（77.6%）、「提案されている」「動きがある」11組合9.7%（10.3%）、「以前から導入されている」20組合17.7%（12.1%）となっています。「以前から導入されている」の増え方が大きいため、回答組合の出方に昨年と違いがあると思われます。

### （2）退職金の切り下げなどの動向（カッコ内は前年値）

回答のあった108組合中、「動きはない」68組合63.0%（63.6%）、「動きがある」9組合8.3%（6.5%）、「現在提案されている」1組合0.9%（6.5%）、「この1年に実施」「1年以前に実施」30組合27.8%（23.4%）となっています。切り下げ実施の回答が増えています。

## 18. 安全・衛生委員会の実態

- (1) 安全衛生委員会の設置については、「ある」が 122 組合中 110 組合 90.2% (前年 91.5%) となり、改善しています。
- (2) 委員会の構成については「労使ほぼ同数」が 103 組合中 79 組合 (76.7%)、委員会の開催は「月 1 回定期的」が 101 組合中 83 組合 (82.2%) となっています。
- (3) メンタルヘルス対策について「委員会で論議している」が 102 組合中 86 組合 (84.3%) で、昨年 (77.9%) よりも増えています。

以上